

電 害

4月

水 稲

夜間の冷え込みが予想されるので、育苗については被覆資材を用いて保温に努める。

麦

雹による湿害を防ぐため、排水に努める。

茶

- 1 被害葉は正常なものと分別して摘採・加工する。
- 2 被害を受けた園では、ハダニ類の被害が多くなるので、薬剤散布を行う。

野 菜

- 1 施設野菜
 - 1) ビニールの損傷箇所を早急に修理する。
 - 2) ビニールが損傷し、施設内への降雨により傷口から病気の侵入のおそれがあるため、殺菌剤の散布と草勢低下防止のため葉面散布を行う。
- 2 露地野菜

茎葉の損傷により病害の発生と草勢低下が予想されるため、蔓、茎の誘引を行い、殺菌剤の散布と草勢低下防止のため葉面散布を行う。

果 樹・オリーブ

- 1 栽培管理対応
 - 1) ビワは傷ついた果実を摘果するとともに、果袋の破損が大きい場合は再被覆する。
 - 2) ハウスの被害については、雨による品質低下を考慮して早急にビニールの破損箇所を修理し、雨よけ対策を構じる。
- 2 病害防除対応
 - 1) 枝葉の損傷部からの病害感染防止のため、薬剤散布を行うとともに常緑果樹は樹勢低下防止のため、葉面散布を行う。
 - 2) 枝梢の折損等が生じた場合は、折損部をせん除し、切り口に癒合剤を塗布する。

花 き

- 1 降雹が予想される場合には、被覆資材等による防雹対策を講じておく。
- 2 茎葉が損傷した場合は、傷口から病原菌の侵入を防ぐため、殺菌剤の散布を行う。
- 3 草勢の低下が予想される場合は、液肥の葉面散布を行い、速やかな樹勢回復を図る。
- 4 被害の程度や生育段階によっては、植え直しや播き直しを行う。
- 5 施設栽培でビニールが破損した場合は早急に修繕する。